

## 北野工房のまち（旧北野小学校） 中山手通3丁目

北野地域の新たな観光スポット・北野工房のまちは、この地域にあった旧北野小学校の校舎をそのまま再利用してできた施設である。

1908(明治41)年に開校された旧北野小学校は1996(平成8)年、児童数の減少と阪神・淡路大震災の被害により、隣接する二小学校との統合が決定され閉校となった。閉校時に90年近い歴史を持つ小学校だったため、多くの卒業生をはじめ地元の人々が、思い出の詰まった校舎をなんとか保存できないかという声が巻き起こった。一方、小学校の東を南北に走るトアロードは、異人館街から居留地への神戸在住の外国人たちの通勤路として利用され、神戸のハイカラ文化を培ってきたところでもあり、トアロードの復権を願う地元商店会の人々はその拠点にここを利用したいという要望が持ち上がっていた。

こうした様々な意見を組み入れる形で、神戸市が旧北野小学校の校舎を保存し、そこに神戸ブランドに出会う体験型工房を設置、校庭を北野地区観光の観光バス駐車場として活用するという構想をまとめ、1998(平成10)年7月に、「北野工房のまち」はオープンした。

統廃合された学校の多くは、その校舎も取り壊されていくという運命をたどる中、小学校時代の雰囲気そのままだけに残し、別の施設に転用されるというモデルケースになったのではないだろうか。

場所：神戸市中央区中山手通3丁目17番地1号

